

# ガバナー公式訪問例会報告

## 札幌東ロータリークラブ

8/3

8月3日（木）に松浦光紀ガバナー、山口史朗第5グループガバナー補佐、中山仁史地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、10時30分から行われた会長・幹事懇談会では、当クラブの概況やクラブ運営方針・活動計画を説明させていただいた後、松浦ガバナーから若手会員等、ターゲットを絞った会員増強やクラブ中長期計画の取り纏めにあたってのアドバイスをいただきました。11時30分からのクラブ協議会では、ガバナー及びガバナー補佐にご挨拶を頂戴した後、20名の委員長から活動内容の発表をさせていただき、最後に松浦ガバナーから、参加者全員が男性であったことを念頭に女性会員の拡大の流れや、世界平和の推進、メンタルヘルスの取り組みといったR1及び地区重点目標を踏まえた講評をいただきました。

12時30分からの例会では、提唱クラブである北海高等学校インターアクトクラブのバッジ授与式を冒頭に行い、松浦ガバナーから本年度新入生7名にインターアクトバッジを授与いただきました。卓話ではガバナー自身の生い立ちやロータリー歴にはじまり、今年度のR1テーマ及びDEIの推進といった国際ロータリーの潮流、若手・女性会員の増強、ポリオ根絶に向けた資金援助支援についてのお話をいただきました。ご多忙の中、クラブをご訪問いただき心より感謝申し上げます、報告といたします。



## 新札幌ロータリークラブ

8/23

今年度、少し早めにスタートしたガバナー公式訪問。我々、新札幌RCにおいては、8月23日にR1第2510地区松浦光紀ガバナーをはじめ第5グループ山口史朗ガバナー補佐、拝田昇地区幹事をお迎えする運びとなりました。

クラブ協議会に先立ち、まずは当クラブ会長、幹事、会長エレクトを交え、当クラブの特徴や活動報告などをさせて頂きました。その上で松浦ガバナーより今後のより良い活動とクラブの活性化のために、適格なアドバイスを頂きました。時代が目まぐるしく変わる中、時代に合った活動を、そして新札幌RCの特徴をもっと知らしめて行けるような活動を、さらに、広く広報活動を実践していこうと強く感じたアドバイスでした。

その後のクラブ協議会においては、各五大奉仕委員長より活動報告などをさせて頂き、具体的でより踏み込んだお話が出来たと感じます。

ランチ懇親会は和やかなムードの中で進めていくことが出来ました。

写真は、当クラブ会員一同より感謝の意を込めまして花束贈呈をさせていただいた時の写真です。プレゼンターには、当クラブが今年度、お世話クラブとしてお迎えしている米山記念奨学生のエミラさんに行って頂きました。

この度のガバナー訪問も大変有意義で貴重な時間となりました事に感謝申し上げます、ご報告とさせていただきます。新札幌RC一同、心より感謝申し上げます。



## 札幌西北ロータリークラブ

8/24

去る8月24日（木）松浦光紀ガバナー、中山地区幹事、藤城第4グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前10時からの会長、副会長、幹事との懇談会を行い、午前11時から開催したクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動方針を報告いたしました。例会におきましては、松浦ガバナー、中山地区幹事、藤城ガバナー補佐よりご挨拶とお話を頂戴し、会員一同大変勉強させていただきました。松浦ガバナーからは、国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するための方向性と優先事項をご説明いただきました。ポリオ根絶の為にクラブ活動の中で何が出来るか、会員のクラブ活動参加を促すために、クラブ各リーダーにはリーダーシップ育成とスキル研修実施を求められました。DEIの最も重要な側面である、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織への体質改善というものを深く理解する貴重な時間となりました。最後に松浦ガバナー、中山地区幹事、藤城ガバナー補佐を囲みメンバー全員で記念写真を撮影し、公式訪問を終了しました。



## 江別西ロータリークラブ

8/29

松浦ガバナー、伊藤嘉英地区幹事、菊田政徳ガバナー補佐、新館ガバナー補佐幹事に出席いただき8月29日（火）江別西RCの会長・幹事会（16:30～17:30）クラブ協議会（17:30～18:30）ガバナー公式訪問（18:30～20:00）を楽しみながらも粛々と開催しました。

会員増強の話になり、松浦ガバナーから「女性会員を増やす依頼」と「農業従事者をロータリークラブに増やす問題提起」がありました。女性がロータリークラブに入会すると過去のクラブ運営から視点変わりクラブ運営が進化するのではないか？本州に大量の農作物を供給している北海道のロータリークラブの農業関係者のロータリアンが非常少ないと思うが増やす対応策は有るか？江別西RCは全会員34名中女性会員は3名、会員増強委員会は今年度1名増員で努力している事と、農家のロータリアンは2名ですが、努力しているにもかかわらず苦戦していると報告しました。

30年のベテランになると何十万回から何百万回の製造体験がありますが、農業では30回の農作物の収穫経験しか無く、大型の機会化を導入し、肥料と農薬の改善が進んでも自然の天気によって左右される可能性が多い。雨、風、太陽に農作業を対応する為、昼の例会出席は予定していても難しいので夜間例会を増やす事を考える。農家が合併し大規模化した株式会社の農業団体の会社が増えれば時間的余裕が生じ例会出席の可能性が増す事等説明をしました。

今年度の活動計画書について各委員会の委員長が説明をし、松浦ガバナーと菊田ガバナー補佐から講評をいただきましたので努力不足と感じた問題につきましては、今後さらなる推進をします。食事会后、記念写真を撮りガバナー公式訪問は終了しました。

江別西RCの公式訪問にご出席いただき感謝します。ありがとうございました。





## 札幌清田ロータリークラブ

8/29

8月29日（火）、松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、伊藤地区幹事の3名に御訪問訪問頂きました。10時30分より、当クラブ真鍋会長、三戸会長エレクト、中島幹事と共に懇談会を行ないました。真鍋会長より、当クラブ26年の歩み及び現況報告、今年度の活動方針などを説明致しました。松浦ガバナーは、札幌清田RCは全員がロータリーを熟知しており、会長・幹事の経験回数も多く、クラブ運営もスムーズに推移していると述べられました。また、ロータリーについても大変参考になるお話も沢山頂きました。11時30分よりクラブアッセンブリーが開催され、各委員長より活動方針と計画を発表しました。その後、委員長以外の会員にも発言する機会を頂きました。楽しいアッセンブリーになり、会員共々喜んでおります。引き続き12時30分より例会が開催され、松浦ガバナーより幼少からの生い立ち、お仕事の内容、ロータリーに対する思いなど幅広くお話を頂き、さらに社会のニーズに合わせた情報を若い世代に伝え、対外的にアピールして欲しい。特に少人数のクラブは“出来る事を集中して実行して下さい”と温かい励ましを頂きました。

長時間に渡り終始温厚で気さくな人柄を印象付けるガバナーの公式訪問でありました。この度のガバナー公式訪問におかれましては、会員一同心より感謝御礼申し上げます。有難うございました。



## 蘭越ロータリークラブ

9/4

9月4日（月）午前10時半より蘭越商工会応接室において松浦光紀ガバナー、佐藤慶一第6グループガバナー補佐、伊藤嘉英地区幹事をお迎えし蘭越RC山田一晴会長、白石勇幹事、志比川武会長エレクト同席のもと会長・幹事懇談会を開催致しました。現在、会員9名で活動している当クラブの活動の様子をご説明し、ガバナーから『蘭越クラブは小人数故に独自に委員会を編成し活気のある活動を行っていることが伺える。特に公共イメージ委員会の名称を使っているクラブはまだ少なく、よく理解されている。』とお言葉を頂きました。

引き続きクラブ協議会を開催し各委員長が今年度の活動計画を発表致しました。松浦ガバナーから『現在の人数ですべての奉仕活動を行うことは無理かもしれない。何かに特化した活動が出来れば十分ではないか。また、会員増強も遠方の方でもWebを使った例会参加も可能。』とご意見を頂きました。その後の例会では、会務・幹事報告の後、松浦ガバナーの卓話を拝聴し、佐藤ガバナー補佐からもご挨拶頂き閉会となりました。



## 小樽ロータリークラブ

9/5

9月5日（火）松浦光紀ガバナー、第6グループ佐藤慶一ガバナー補佐、齋藤仁地区代表幹事をお迎えしガバナー公式訪問を賜りました。午前10時30分より当クラブの会長、会長エレクト、幹事で懇談会が行われ、11時30分からはクラブ協議会を開催し各委員長から活動計画及び現状報告を行いました。その後は松浦ガバナーから其々の委員会の活動計画や報告に対する御感想または御指導や御指摘をいただきました。12時30分からの例会にて松浦光紀ガバナーより卓話を賜り自身の入会のきっかけと経歴、国際ロータリークラブとRI会長方針からDEIを通し変化に対応する事の大切さ、又此れからのロータリークラブの将来を見据え女性会員に対する取り組みやメンタルヘルスについての今後の在り方やインパクトのある奉仕活動について、小樽RCの植樹活動は何十年後に素晴らしい木が育つインパクトのある活動と申します。短い時間の中で貴重な講話を終えられ無事公式訪問を終了いたしました。



2023-2024年度 小樽ロータリークラブ「ガバナー公式訪問」令和5年9月5日 グランドパーク小樽

## 千歳セントラルロータリークラブ

9/5

2023-2024年度、9月5日ガバナー公式訪問例会が千歳グランテラスにて行われ、松浦ガバナー、前田ガバナー補佐、齋藤地区代表幹事と16時30分から会長・幹事懇談会が行われました。ごあいさつのあと、クラブの活動概要を会長より説明をし、その後、6分におよぶ動画を上映いたしました。近年の事業、過去からの継続事業、長泉RCとの友好クラブ締結の写真等をご覧いただきました。ガバナーからは平均年齢が若く、女性会員比率が23%と高く新しいことにも活発に取り組み素晴らしいのではないかとご指摘をいただきました。

17時15分からは理事懇談会に移り、大下直前会長、高野副会長、臼田会長エレクト、本村副幹事が加わり、それぞれの組織での役割を発表してもらいました。

食事では当クラブのロータリー農園で収穫したジャガイモをガバナー含めて全員で食べていただきました。18時30分には例会が始まり、ガバナーによるお話を講演していただきました。アメリカでの研修、感じたこととお話しされ、「千歳セントラルRCは、本当に素晴らしい実績をお持ちで、今日は噂では聞いていましたが、こんな素晴らしいクラブだとは思いませんでした。もっともっと皆さん方にアピールできるクラブだと感じました。」とお褒めの言葉をいただき例会を閉会いたしました。





## ■会長・幹事会

中川会長から本年度の活動目標を発表させて頂き、松浦ガバナーからアドバイスをいただきました。ガバナーの年次目標と重点項目の具体例をお話しして頂きました。

会員増強戦略ーランクづけを行い対応する、  
 女性会員増へー女性の参加しやすいイベント開催、(農地を借りて収穫～奉仕) など  
 ポリオー野生型はほぼ無い 不衛生な環境、生活用水での感染はまだまだ  
 青少年奉仕、交換留学生ー例会出席訪問 システム構築、クラブより参加費がでる  
 地域への恒久的な奉仕ー 栗山町、高校に女子野球部を創設し学生増へ など

## ■クラブ協議会

本年度俱知安RCの各委員長から活動目標・活動計画を発表させて頂き、松浦ガバナーから好評いただき委員会ごとにアドバイスをいただきました。

## ■会長挨拶・会務報告(中川会長)

本日は松浦光紀ガバナーをお招きしてのガバナー公式訪問となります。

10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会が行われ、様々なご意見を頂戴致しました。  
 食事後に松浦ガバナーよりお話しして頂きます。

## ■松浦光紀ガバナー

数年前にガバナー補佐を終え、まさかガバナーを拝命するとは思いませんでした。

グループ内の事は補佐を経験した時におおよその理解はしてましたが、今回はガバナーとしての役務上のお話しをします。

まず、世界のロータリーでの女性の割合は35%ですが日本の場合は8%で、来年のRI会長も女性です。

第2510地区のテーマ「地域に希望を育てよう」としましたが、

DEI(DIVERSITY、EQUITY、INCLUSION)

～ 多様性 公平さ インクルージョン ～

が地区活動やクラブ活動の中で、図られているかどうか、メンタルの弱ってる子供に奉仕とは？

特にインパクトのある奉仕活動が単年度で終わらせるのではなく、将来を見据えた地域に夢をもたらす地域奉仕活動が求められます。

ポリオに関しては、野生種に由来する症例が7例となっておりますが、ワクチン由来も増えておりその対策も考えなければなりません。

今年1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



## 岩内ロータリークラブ

9/7

松浦光紀ガバナ公式訪問を終えて、岩内RCにお越しいただきありがとうございます。大変貴重なお話を会長・幹事会、クラブ協議会・例会にてお話ししていただきました。

現在ロータリークラブ開設から117年が経過し活動内容・定款は時代に合わせ、大きな改訂がありました。DEI(多様性、平等さ、インクルージョン)を通し、変化に対応することが求められています。多様性に富んでいるか、平等に運営されているか、会話は風通しよく、意見の言い合える場になっているかを検証して、自由な議論を今まで以上に進めるようにお願いされていました。

またロータリー活動の認知度を一般の人にどのように分かってもらえるか、広報活動がいかに重要なかわかりやすくクラブ協議会の中でも説明してもらいました。会員増強では30代、40代、の年齢の若い会員や女性会員の構成は非常に低い状況であります。年齢の若い会員の入会は、クラブ存続の上で、欠かせない状況です。若い世代の勧誘に関して力を入れて頂きたいと考えています。

現状で何が障害になっていて、何の理由があり入会してもらえないのかを、その人の立場になって考え改善していく必要が大きな成果となることを教えてもらいました。岩内RCの今後の活動と成果を楽しみにお待ちしております。



## 小樽銭函ロータリークラブ

9/7

本年度の小樽銭函RCガバナー公式訪問は、我々の親クラブにあたる小樽南RCの松浦光紀ガバナーの訪問で終始アットホームな雰囲気での開催となった。会長・幹事会においては、我々ロータリークラブ活動の地域への広報活動の必要性に関してお話を頂き、本年で40回目を迎える小樽銭函ロータリー杯少年野球大会やパークゴルフ大会、地域の清掃活動に関して今後も継続して活動して頂きたいと好評を頂いた。クラブ協議会においては、2030年を目標とする新たなロータリークラブ活動、次世代へのロータリアンの育成のための我々の役割に関してお話を頂いた。また国際ロータリーで推進しているDEI(Diversity多様性、Equity公平性、Inclusion包括性の頭文字)に関して今後のグローバル化や価値観の多様性、労働力の変化などに関するお話も頂き参考になった。





## 三石ロータリークラブ

9/11

9月11日、松浦光紀ガバナー、久保佳幸ガバナー補佐、斎藤仁地区代表幹事をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。17:30から行われたクラブ協議会では、クラブの概要、活動状況の説明後にガバナーのお話があり、クラブの公共イメージを上げるためには、奉仕活動の新聞掲載、標語看板を道の駅等の隣接地に設置することが有効な手段と述べられました。また、インパクトのある奉仕活動として、老人向けのイベント開催や地域の学校、教育委員会との共同作業が効果的だと話されました。

18:30から行われた例会での講話では「D・E・I」、ポリオ根絶活動の現状についてお話がありました。

最後に、「一番大切なのは思いやりの心を思って行動することです」と述べられ、食事、記念撮影を行い閉会となりました。



## 様似ロータリークラブ

9/12

一時間ほど時間の余裕ができたため、会員の奥さん（彼女はアポイ岳ジオパークの認定ガイドで学芸員の資格を有する）の解説付きで、町内の名所案内としゃれこんだ。様似町は道内でも有数の歴史の古い町である。松前藩の「運上屋」がエンルム岬のすぐ近くに置かれ、松前藩から江戸幕府の直轄地になると「運上屋」は「会所」とその呼称を変えた。会所の名は今も「会所町（かいしょまち）」として、地名にその名を残す。蝦夷地測量で有名な伊能忠敬も「シャマニ会所」に三泊した・・・との記録も残る。エンルム岬はその両側が湾状の天然の良港となっており、東風にも西風にも対応可能な港である。蝦夷地の産物の商いで巨万の富を得た高田屋嘉兵衛も、又、この天然の良港をよく使い、その足跡を印している。（その子孫は今も様似町に健在でいらっしやる）塩釜トンネル、ローソク岩、親子岩、ソビラ岩、エンルム岬と続く奇岩類は、アポイ岳の成り立ちでもあるプレート同士の衝突と、深い関りを持っている。プレート運動によって生じた割れ目に、地下深くのマグマ（岩石状であるマントルが溶けたもの）が貫入し、固まってできた「ひん岩（がん）」が浸食されてできたものである。その「ひん岩」の連なりは、正に絶景というしかない。

アポイ岳は標高810mの低山ながら、「世界でここにしかない花」（＝固有種、ヒダカソウ、アポイアザミ、エゾコウゾリナ等5種）その他亜種や変種を加えるとアポイ山塊周辺に固有な植物の数は30種にもなり、全部で80種ほどの高山植物と共にアポイ岳高山植物群落として、国の特別天然記念物に指定されている。その世界でも珍しい高山植物群落の生成には、夏季の霧の多い冷涼な気候と共に、アポイ岳全山を覆う「カンラン岩（橄欖岩）」によるところが大きい。「カンラン岩」は地球内部を形作る「マントル」の主成分であり、「はやぶさ」が持ち帰った小惑星イトカワの微粒子にも含まれる事が判明した。カンラン岩は地球、太陽系、さらには宇宙の成り立ちを解明する手掛かりとして、数多くの科学者が研究している鉱物である。カンラン岩は超塩基性岩と言われる岩で、その土壌は植物にとって非常に生育しにくい環境をもたらす。高山植物と呼ばれる植物の多くは、氷河期に南下し、分布を広げ、温かい間氷期に高山帯などに逃げ込み、種の保全を図った戦略を有する。低山であるアポイ岳に高山植物が根付いたのは「カンラン岩」の作った特殊な土壌、すなわち、植物の生育しにくい土壌と、冷涼な気候等が本州の高山と同じような環境を生み出し、他の植物の侵入を阻んだというわけである。可憐な高山植物は何を隠そう、苛酷な自然を生き抜いた『植物の猛者』なのである。

先ほど、「カンラン岩」は地球の内部を形作るマントルの主成分と書いたが、マントルは我々人類や他の生物の





住む地殻（海底地殻で平均6～7 km、地表から平均30～40 km）の下深く、約2900 kmの層で存在し、その下には内核・外核（主に鉄）が約3500 kmの層をなしている。地球の半径は約6400 kmなので、地殻は半径の2%にしか過ぎない本当に薄い層なのである。人類史上一番深く掘った穴は、ロシア北西部ノルウェーとの国境近くのコラ半島で、1970年に掘削半ばで中止された直径わずか3 cmほどの、およそ12 kmの穴である。地殻の半分にも満たない深さなので、未だかつて生のマントルを見た人類は存在しない。そのマントルを

地表で見られるのがアポイなのだ。アポイが世界ジオパークに認定された所以である。

肝心のガバナー公式訪問は、ガバナーの人間性を体現し、和気あいあい、終始穏やかに推移し、ガバナーの『小さいクラブながら、様々な取り組みを為し、バランスのとれた良いクラブである。これからも頑張っていて欲しい』との温かい言葉で幕となった。

以上、様似町の紹介が主になった事と、学術論文的になった事をお詫びし、報告を終了する。



## 静内ロータリークラブ

9/13

9月13日、ガバナー公式訪問です。静内RCの雰囲気は少しでも感じて貰える様に、私達が通常行っている例会場で、円卓形式の座席と致しました。先刻、会長・幹事会を別室にて行い、松浦ガバナー、久保ガバナー補佐、斎藤地区代表幹事そして、当クラブからは、西村会長エレクト、山田幹事、福田副幹事、私、同席のもと、久保ガバナー補佐の進行で円滑に会議が行われました。内容は、静内RCの活動や現状を説明し、ご理解頂き、更に、地域での知名度向上の為に、PR活動も重要な事だと、有意義な意見交換が出来たと思います。又、会員の平均年齢が他のクラブと比べて若いと、驚かれていました。クラブ協議会では、私達がやっている奉仕活動に、ご理解頂き、これからの地区や静内RCでの活動に活かされる事と思います。例会では、松浦ガバナーより講話を頂き、松浦ガバナーのロータリーに関する見識の深さには感心致しました。公式訪問も中間位とお聞きし、今後も松浦ガバナーには健康に留意され、責務を全うされる事を願います。





## 千歳ロータリークラブ

9/14

R I 第2510地区松浦光紀ガバナー（小樽南RC）、R I 第2510地区第7グループ前田利和ガバナー補佐（恵庭RC）、廣部隆夫地区財務委員長（小樽南RC）をお迎えしてのガバナー公式訪問が開催されました。ANAクラウンプラザ千歳にて新型コロナウイルスも5類に移行となり、マスクも無いコロナ前の雰囲気で行われました。始めに前田会長・小畑副会長・宮川幹事・稲川会長エレクト出席による会長・幹事懇談会が行われました。会長からは今年度のテーマである「思いやりの心で行動しよう～みんなの為になるように～」について説明させて頂いた後に松浦ガバナーから様々なご意見とご指導を頂きとても有意義な時間となりました。

続いて各理事・委員会にも出席頂いたクラブ協議会では年度計画や委員会報告を説明し、松浦ガバナーからはインパクトのある奉仕活動についてお話頂きました。ロータリーサタちとせや千歳ロータリーの森林への取り組みについて評価して頂き、貴重なアドバイスも頂きました。

その後、例会の卓話ではDEI（多様性・平等さ・インクルージョン）についても詳しくわかりやすくお話頂き大変有意義な時間となりました。例会終了後には、松浦ガバナーを中心に記念撮影を行いガバナー公式訪問を終了致しました。

お忙しい中お起こし頂きました松浦ガバナー、前田ガバナー補佐、廣部地区財務委員長に心より感謝申し上げ報告とさせていただきます。



## 札幌西ロータリークラブ

9/19

9月19日（火）、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、松浦光紀ガバナー、藤城英明ガバナー補佐、斎藤仁地区代表幹事をお迎えしての「ガバナー公式訪問」の諸行事を開催しました。

まず、最初の会長・幹事会では、当クラブの歴史や特徴、現状認識や今後の課題についてご説明し、その後のクラブアッセンブリーでは、各委員長より今年度事業の計画と進捗についての報告があり、松浦ガバナーからは様々なアドバイスをいただきました。特に、公共イメージ向上の重要性や、クラブとして中長期の方針を検討し見出ししていくことの必要性を強調されました。

そして、例会でのガバナー卓話においては、「ロータリーができてから117年が経過し、時代の変化に合わせ、今はDEI（多様性、平等さ、インクルージョン）を通し、変化に対応することが求められている。多様性に富んだ人財を受け入れ、何でも意見を言い合える風土を創ることが大事。若い世代や女性の会員拡大に取り組んでいただきたい。」との激励をいただきました。

当クラブとしても、松浦ガバナーにご指導いただいたことを踏まえ、今後のクラブの活性化に取り組んで行く所存です。



## 札幌大通公園ロータリークラブ

9/19

9月19日(火)、松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、斎藤地区代表幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。会長・幹事会では、当クラブの現状報告ならびに少人数でのクラブ運営の良し悪し等をご報告させて頂きました。

ガバナーからは、他クラブの取組み、クラブ運営へのアドバイス、会員増強についてなど様々な貴重なご意見、ご助言を頂戴いただきとても有意義な時間となりました。

その後は、ほっとパーティー例会にご参加いただき、お酒を飲みながらリラックスした中で会員皆と今後のクラブのありかたなど様々な意見交換をさせて頂ける良い時間となりました。

松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、斎藤地区代表幹事におかれましては、お忙しい中での当クラブ訪問に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 室蘭東ロータリークラブ

9/20

9月20日(水)ガバナー公式訪問が開催されました。会長・幹事懇談会には松浦光紀ガバナー・斎藤仁地区代表幹事・鈴木高士第9グループガバナー補佐・同じく守屋聡ガバナー補佐幹事の4名と当クラブからは森秀樹会長・竹本次年度会長、荒井孝亘幹事が参加しました。森会長からは、クラブ自慢・我クラブの特筆される事業について発表致しました。この時点でガバナーは約半数近くクラブ訪問を終えており、各クラブの事例、思い出のエピソード等々を聴かせて頂き、楽しく有益な時間を過ごしました。

◎クラブ協議会では、担当委員長より本年度の活動計画が発表されました。ガバナーからは関心ある事項について質問を頂き、意見交換がありました。特に青少年分野のインターアクト、ローターアクトに強い関心を示されていました。

会員増強について女性会員の増強、特に30代・40代の若い会員の加入に力を入れて下さい。新入会員に対し会費を工夫し、段階的に増額する方法についてのアドバイスは参考になりました。

◎例会では松浦ガバナーの講和を頂きました。懇談会・クラブ協議会でお話し頂いた内容の要約を中心にお話を伺いました。特にコロナから解放されロータリーをエンジョイしましょう。「ポリオ根絶、会員増強」のお話を興味深く聴きました。

最後に、全員で記念撮影を行いガバナーの今後のご活躍をお祈りし、散会いたしました。

◎第9グループのIMは登別RC主催で令和6年2月10日に決定しております。ガバナーがIMに参加されるお約束を頂き、登別温泉グランドホテルでお会いできますこと楽しみにしております。





## 室蘭ロータリークラブ

# 9/21

9月21日（木）に松浦光紀ガバナー、齋藤仁地区代表幹事、鈴木高士ガバナー補佐、守屋聡ガバナー補佐幹事をお迎えして公式訪問を開催しました。

午前10時半から開催された会長・幹事懇談会では、今年から市民踊りに参加して子供たちにロータリー活動を知ってもらえるようプレゼントを配布したことを報告し、良いことだと評価していただきました。また、会員増強や財務運営、未来ビジョン委員会など具体的にアドバイスをいただきました。クラブ協議会では各担当者から活動方針・活動計画を発表し、報告内容が充実しているとのこと講評をいただきました。公式訪問例会では松浦ガバナーより、若い人や女性の会員増強などについて具体的な例を挙げながらご講話をいただきました。

当クラブが44番目の訪問地という事で、前日は室蘭で宿泊し室蘭名物の焼き鳥を召し上がったと伺いました。例会修了後は次の訪問地である長万部に向かわれるとのことでした。2510地区という広大な地区のガバナーは本当に大変だと思いました。お身体をご自愛いただき、残り25クラブの訪問を無事に終わられますようお祈りいたします。



## 長万部ロータリークラブ

9/21

9月21日（木）松浦光紀ガバナー、第10グループ宮村拓郎ガバナー補佐、齋藤仁地区代表幹事をお迎えして、公式訪問が開催されました。

松浦ガバナーご一行は、室蘭市内クラブの公式訪問を終えて、15時30分長万部庁舎に到着。

当クラブが庁舎前に設置・寄贈した大理石の「町民顕彰碑」、ポケットパークの「花壇」を紹介。

16:00 木幡町長を表敬訪問。佐藤副町長、近藤教育長と新幹線建設工事状況などを懇談。

16:30 会長・会長エレクト・幹事会。村松会長から、当クラブの現状と課題についての報告に対してガバナーから、楽しいクラブ活動の実践についてきめ細やかなご指導をいただきました。

17:30 クラブ協議会は、通常の例会場「あつまんべ」で開催。村松会長は、本年度の方針では、少数会員のクラブですが、地域密着の奉仕活動の実践を通して、会員純増でロータリーの火を灯し続ける決意を報告。続いて各委員長から活動方針が報告された。

松浦ガバナーはR1のメッセージを伝えていくのが仕事であり、地区として何ができるかです。当クラブは、少人数の中でよく頑張っている、その点は会員数の問題ではない。親睦と奉仕が大切。町内の組織との連携で何ができるか、すそ野を広げ地域のためのロータリーを目指しては、と講評。

続いて、五大奉仕委員会の各委員長の報告に対してガバナーは、クラブの活性化について、花壇の管理は大変です。町民に参加を呼び掛けて、他の事業でも町内の組織との協力体制を構築などRC活動の取り組み方についてご指南いただいた。

18:30 第2498回例会。ガバナー公式例会の卓話で、R1は100年経過して改革された。女性の入会を認め、女性がクラブ会長に、女性のガバナーを迎え、女性のR1会長が誕生した。

また、地球上の戦争、紛争の被害者は子ども達だ。また、ポリオの根絶では、各クラブ1人30ドルの協力子ども達を救っていききたい。R1は平和を希求する奉仕活動の土壌です。広範囲にわたり意義深い卓話

19:30 夜間例会場「丸金旅館」で懇親会。みんなで和やかに親睦を深め、記念撮影。松浦ガバナーご一行の皆様、公式訪問誠にありがとうございました。



2023年9月21日松浦ガバナー公式訪問